

# 外郭団体特別委員会審査から①

神戸市議会外郭団体に関する特別委員会の審査が7月7日と26日にひらかれ、日本共産党神戸市会議員団の大かわら鈴子議員と前田あきら議員が外郭団体の運営状況などについて質問しました。

## 7月7日 経済観光局

ファッション  
マーケット

株式会社神戸商工貿易センター

### 地域振興のために 既存事業者への支援を

——— 大かわら鈴子議員

株式会社神戸商工貿易センターが管理運営をおこなう神戸ファッションマートの入居率は、2017年から81~83%（店舗とオフィスを合わせて）で推移している中、コロナ前から経営している店舗の方々からは「営業が大変、いつまで続けられるか」という不安の声があがっています。大かわら議員は「初出店する方には2年間の賃料免除があるが、その後の縛りはなく自由に退去可能。これでは入居率は上がるが定着は難しい」と指摘。初出店に限らず頑張っている既存事業者

への支援を強化し、イベント開催など様々な施設との連携をはかり、六甲アイランドの活性化へのさらなる取り組みを求めました。

### 答弁ダイジェスト

**総務部長：**コロナ禍では家賃の減額支援をおこなった。今はイベントの誘致やSNSやラジオを通じて店舗の紹介など集客強化の取り組みに力を入れている。

**大かわら議員：**コロナで開催が中止になっている“市”CLUBは、多い時は1万人の方が来て、市民の方も（開催を）楽しみにしていると聞いている。今は特に物価高騰で購買意欲が下がっているの、状況を見ながら再開すべきではないか。

**総務部長：**今すぐに再開は考えていないが、今後状況を踏まえて検討したい。

**大かわら議員：**24年の春にファッショ



ンプラザがリニューアルオープンするが、ファッションマートにその情報が伝わっていないと聞いている。情報共有を図りながら活性化につなげる取り組みの強化が必要だ。

**瀬合副局長：**神戸市としてもいろいろな部局が関わって展開している。島内や事業者の方々に周知が行き届くよう努力したい。

公益財団法人 神戸市産業振興財団

### 中小企業の振興施策を 推進する条例の制定を

——— 前田あきら議員

公益財団法人神戸市産業振興財団は、神戸の中小企業の技術・製品情報の発信など、支援事業をおこなっています。前田議員は「地域に根差す中小業者を活性化させることこそが、地域住民の暮らしの向上につながる」と指摘し、兵庫県の

ように中小企業の支援施策として振興条例を制定し、活性化に向けて神戸市全体で共有・推進するといったブランドビジョン的な戦略を明確に示すべきと質しました。

### 答弁ダイジェスト

**前田議員：**神戸市の2025ビジョンでは中小企業に特化した記述もなく、位置づけも明確ではない。以前は経済観光局として活性化プログラムをつくり、中小企業を発展させることが神戸経済の鍵だと位置づけていたのではないのか。

**瀬合副局長：**今から基本構想、基本計画、そして2030ビジョンがつけられていく。そこでどのような伝え方、記述の仕方をするのかは引き続き研究・検討をしていきたい。

**前田議員：**神戸の歴史と風土を基盤に成長した地場産業を発展させ、地域に根差して暮らしに身近な産業として中小企業を位置づけて活性化させることが今の基本構想だ。単年度ごとのビジョンにと

どまらず、中小企業の活性化を推進する条例の制定など、市民に共有できるものをつくるべきだ。

## 9月14日より 9月議会がはじまります

9月14日	本会議 (議案質疑 未定)
9月15日・19日 21日・22日	常任委員会 本会議 (代表質疑)
25日~10月4日	決算特別委員会 局別審査
10月10日	決算特別委員会 総括質疑
10月12日 16日	意見表明・意見決定 本会議 (議案質疑 未定)
17日・18日 23日	常任委員会 本会議 (討論)
24日	本会議 (一般質問)



## 会員の負担増やさず就業率と 会員サービス向上こそ

——— 大かわら鈴子議員

公益財団法人神戸いきいき勤労財団が運営するシルバー人材センターは、政令市で唯一会費無料を貫いていたセンターでしたが、10月から始まるインボイス制度による経費負担増の影響で、会員に対して年額2400円の会費徴収を決めました。さらにこれまで各センターに配置されていた就業開拓員を2020年度から外部委託し、本部に一括集約しています。大

かわら議員は「これでは体制強化ではなく経費削減だ。会員就業率が51.6%と低い上に、会員に負担を求めるなどあってはならない」と質しました。

### 答弁ダイジェスト

**大かわら議員：**会員の配分金の引き下げはどうなるのか。

**常務理事兼事務局長：**配分金の引き下げは考えていない。会費の徴収は会員サービス向上に注力するためだ。就業率が低い点は真摯に受け止めたい。

**大かわら議員：**就業開拓員を集約して効果が上がるなら外部委託はやめて、これまで蓄積されたノウハウを活かして就業率を上げるべきだ。

**常務理事兼事務局長：**これまでの地域に密着した事業でも一定の実績があるが、短くても高齢者が参画できる新たなビジネス領域を開拓するために本部を設立した。

**大かわら議員：**強化すると言うが、経費を節約し会員に負担を増やしているのは問題だ。

**大畑局長：**会費は月額にすると200円だ。会員に情報を瞬時に提供するシステムをスタートさせた。サービス向上のために会費を使う。

**大かわら議員：**みなさんは少ない配分金で頑張っている。そこに負担を求めることは財団の設立趣旨からしても本末転倒だ。

## 加入要件緩和実現！ さらに事業者が求める サービスの拡大を

——— 前田あきら議員

ハッピーパックは、公益財団法人神戸いきいき勤労財団が運営する、個々で独自に実施することが難しい事業者への福利厚生制度です。昨年の当委員会では我が会派の山本じゅんじ前議員が加入要件の拡大を要望し、個人事業主(一人親方含む)と市外事業者と従業員も加入対象となり要件緩和が実現しました。さらに会員本人に限りインフルエンザワクチンの助成が決まりました。前田議員は、今減っているハッピーパックの加入企業が増えるよう制度の周知を図り、新しいサービ

スの拡大も検討すべきと求めました。

### 答弁ダイジェスト

**常務理事兼事務局長：**要件緩和後の(一人親方の)加入は5社。徐々にダイレクトメールや電話での当り手は手応えを感じている。引き続きマンパワーを動員し制度の拡大に努めたい。

**前田議員：**例えば一人親方を一定つかんでいる団体そのものに対しても新しいインフルエンザワクチンの助成も含めてPRしてはどうか。

**常務理事兼事務局長：**ご指摘のとおりだ。一人親方を横串するようなネットワークも活用しながら制度のPRに努めたい。

**前田議員：**インフルエンザは家族から罹患することも想定されるので、会員に限らず配偶者や家族にも助成を拡大してはどうか。

**常務理事兼事務局長：**利用状況を勘案しながら制度の浸透を図っていきたい。

**前田議員：**ひょうごファミリーパックでは配偶者も対象としている。今後の接種状況や事業者の実態も調査し、広報とともにさらなる拡大も検討すべきだ。

### その他の質問

#### 一般財団法人 神戸観光局

- SDGs教育旅行誘致について  
——— 大かわら鈴子議員
- ラグジュアリー層をターゲットにした投資の費用対効果と地域観光について  
——— 前田あきら議員

#### 一般財団法人 神戸農政公社

- 休耕田等の活用による給食ファーマーについて  
——— 大かわら鈴子議員

## 7月26日 文化スポーツ局

## 映画発祥の街だからこそ訪れたい ような映画のイベントや情報の発信を

——— 大かわら鈴子議員

公益財団法人神戸市民文化振興財団が管理運営するアートビレッジセンターは、4月に新開地アートひろばとしてリニューアルオープンしました。親子での来館も増え雰囲気も明るくなり、地域の皆さんに喜ばれています。しかし、以前地下にあったKAVCシネマがなくなり、

復活を望む声もあがっています。大かわら議員は「貸館だけではなく、積極的に映画のイベントを開催し、(新開地が)映画発祥の地であることをもっと広めることが必要だ」と質しました。

### 答弁ダイジェスト

**宮道局長：**民間の小さな名画座がずいぶん増えたので、KAVCシネマは一定役割を終えたと思っている。

**大かわら議員：**2年前におこなわれたネットモニターアンケートでは、映画の評価や満足度がとても高かった。アートひろばでも映画ウィークなどのイベント

を設けてはどうか。

**宮道局長：**もともと新開地は映画の街であり、今はパルシネマも含めて湊川辺りまで映画の上映会をおこなっている。今後も地域と協力して進めていきたい。

### その他の質問

- こうべ市民美術展について  
——— 大かわら鈴子議員

#### 公益財団法人 神戸市スポーツ協会

- 体育館指定管理とスポーツ振興事業について  
——— 大かわら鈴子議員

ぜひご視聴ください

味口としゆき議員と朝倉えつ子議員が  
代表質疑に登壇します

場所 市議会本会議場

9月22日(金) 10時開会

質疑時間は「神戸市会事務局(市役所代表 331-8181)」または「日本共産党神戸市議員団」にお問合せ下さい。